

業務アプリで 現場の生産性向上

01

業務アプリとは？

02

業務アプリの
よくある機能

03

業務アプリの
おすすめ業種

04

業務に関する
こんな悩みありませんか？

05

業務アプリなら
解決できます

06

業務アプリの
4つの効果

07

DX化を目指す企業が
直面する7つの経営課題

08

はつかぜの実施する
課題解決のアプローチ

09

はつかぜが出来る
5つのこと

10

はつかぜがもたらす
5つの結果

11

アプリ開発の手順

12

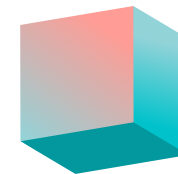
業務アプリの
開発費用

13

業務アプリの
開発期間

14

はつかぜへの
お問い合わせはこちら

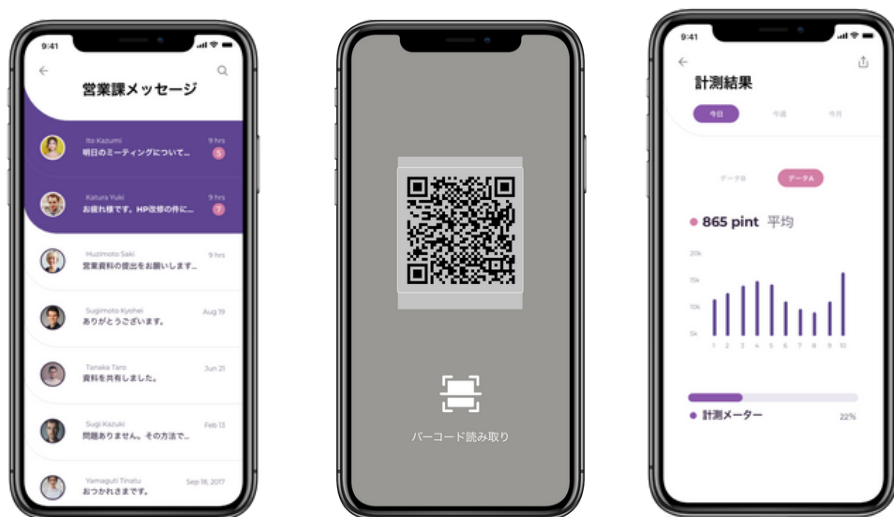


業務アプリって どんなアプリ？

はつかぜは、業務アプリの開発経験が非常に豊富です。
その経験で培った技術力とノウハウを活かして最善の提案を行います。
働き方改革や脱ハンコ、DX化などの課題解決を全力でお手伝いいたします。

01 業務アプリとは？

スマートフォンやタブレットの機能を活かして業務をサポートしてくれるアプリです。
画像登録や顧客管理、在庫管理などの機能で業務の生産性を向上させてくれます。
報告書自動作成や社内メッセージ機能、製品検索など労働環境の効率化を約束します。



02 業務アプリのよくある機能

- ・メッセージ機能
- ・お知らせ
- ・画像登録
- ・報告書作成
- ・情報閲覧機能
- ・承認機能
- ・製品検索
- ・QR/バーコード読取

03 業務アプリのおすすめ業種

- ・数十名以上の規模の従業員がいる業種
- ・スマホを携帯できる環境がある業種

業務に関する 「悩み」と「解決方法」

業務アプリを使うことで、業務の悩みを解決することができます。
紙やハンコ、情報共有の遅さ、手作業の記録...会社に溢れる無駄を
アプリの力でなくしていくことが私たちの使命です。

04 業務に関する こんな悩みありませんか？

- 01 作業が属人化しており、
引き継ぎが困難
- 02 従業員にはクリエイティブな
仕事に専念してほしい
- 03 担当者ごとにデータを管理しており、
データ活用が難しい
- 04 人為的なミスを削減したい
- 05 紙やハンコの利用が多く、
業務効率が悪いと感じる

05 業務アプリなら 解決できます

- 01 メッセージ機能や共有機能により一人に
情報が偏らない仕組みを導入できます
- 02 PDFやExcelなど必要に応じて様々な形式で
書類作成などを自動化できます
- 03 共通のアプリを利用しデータの
一元管理を可能にします
- 04 入力時のチェックを行うことでミスを
削減することができます
- 05 ワークフローシステムの導入により、
承認作業等をデジタル上で完結させます



業務アプリで 何が手に入るのか？

業務アプリを導入することで「生産性の向上」を実現することができます。
しかし、一方で専門的な管理者が必要であったり、不正アクセスによる
情報漏洩の危険性があり、他のアプリに比べ専門的で高度な対応が必要です。

06 業務アプリの4つの効果

データ管理/分析

複数の部署や拠点でのデータを
一元管理ができ、全員が最新の
データを閲覧することが可能です

ミスの削減

入力制限やチェック機能、データ照合
などにより間違ったデータを登録でき
ないようにすることが可能です

生産性向上

業務削減

アプリを使うことで職場の紙や
ハンコを減らすことができ、
情報の配布や共有が簡単になります

情報伝達の効率化

社内チャットや共有機能によって
手軽で場所や時間を問わない効率的な
コミュニケーションが可能になります



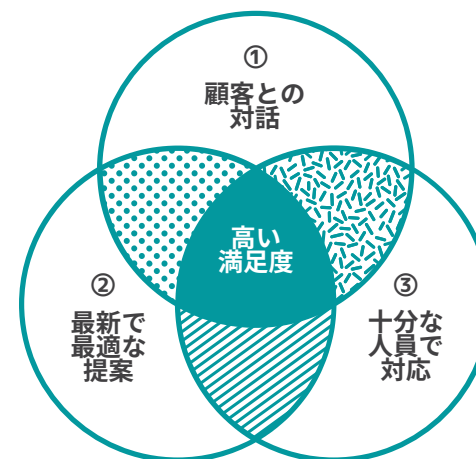
よくあるアプリ開発の「課題」と「解決策」

戦略的にシステムやIT人材を投資してこなかった企業にはいくつかの課題が待ち受けています。それらの課題に対するはつかけ流のアプローチについてご紹介します。

07 DX化を目指す企業が直面する7つの経営課題

- 01 「人手不足でデジタルの担当者を用意できない」
- 02 「データ活用を目指しているが具体的な方法がわからない」
- 03 「パッケージ型のアプリでは業務に対応できない」
- 04 「顧客との接点が実店舗にしかなくデジタル上での接点がない」
- 05 「ペーパーレスや脱ハンコが遅れており生産性の低さが問題になっている」
- 06 「既存の古いシステムが足枷となって他のシステムが導入できない」
- 07 「デジタルに関する情報が不足しており経営戦略や方針が決められない」

08 はつかけの実施する課題解決のアプローチ



- 01 企画段階から開発者が参加し、顧客との対話を重ねて、課題解決に向けた明確な方針を打ち出します。
- 02 幅広い業種業態のアプリ・システム開発を行ってきたノウハウと技術を活かし最適な提案を行います。
- 03 海外にある複数社のパートナー企業と協力して、技術者の作業単価を減らすとともに十分な人員でアプリ開発を行います。

はつかぜの 「出来ること」と「結果」

はつかぜでは、顧客の立場に寄り添い「成果が出る」を第一に考えてアプリ開発に取り組んでいます。どんな業種、業態にも対応可能なオーダーメイドで成果重視のアプリ開発がはつかぜの特徴です。

09 はつかぜが出来る 5つのこと

- 01 豊富な機能から効果があるものを選び出し、最新で最適な機能を提案して実装いたします。
- 02 保守や改修を前提として状況変化に対応しやすいアプリ開発を行います。
- 03 古いシステムの顧客・商品データ等を最新アプリに移行して、継続したサービス利用を可能にします。
- 04 アプリ利用者の行動データ等を蓄積して分析することができる仕組みを導入します。
- 05 社内状況や事業内容、求めるアプリなどを丁寧にヒアリングして現状分析を行い、現状にマッチするアプリ開発を行います。

10 はつかぜがもたらす 5つの結果

- 01 選び抜かれた最適な機能により初期費用を抑え、選び抜かれた最新の機能によりユーザーに新たな顧客体験を与えます。
- 02 技術的負債を取り除き、保守や改修による継続的なシステム維持費を抑えます。
- 03 旧データを移行した継続的なサービスにより利便性が高く、今まで通り使えるアプリを実現します。
- 04 データを活用した合理的な意思決定が可能になることで、スピード感のある経営をサポートします。
- 05 業務効率化や働き方改革、ペーパーレス化、脱はんこを実現させ、生産性や効率を高めます。



業務アプリの 「開発手順」と「情報」

はつかぜでは、顧客満足度の高いアプリ開発を目指しています。
業務的な外注ではなく、1つのチームとしてプロジェクトを
進めて成果が出るアプリの導入を実現します。

11 アプリ開発の手順

①ヒアリング

顧客が抱えている問題や課題をお伺いし、開発したいアプリのイメージを掴んでいきます

②提案

課題解決に向けて最適な技術や手法を提案します

③要件定義

顧客が求めている要件を整理して、実現するために必要な機能・性能といったシステムの仕様を明確に決めます

④打ち合わせ

画面レイアウトや機能一覧などをもとに最終的な調整を行います

⑤基本設計

要件定義を基に、システムの基本となる設計を行います。操作方法・操作画面・出力方法など

⑥詳細設計

基本設計を基に、システム内部の詳細な設計を行います。機能・動作・構造など

⑦実装

アプリ開発を行います

⑧導入

アプリをAppStoreやGooglePlayに公開する手続きを行います

12 業務アプリ開発の費用

初期費用

500~1000万円ほど

保守費用/月

15~50万円ほど

上記の金額は、当社の実績から算出した平均的な開発費用です。

開発するアプリによって、費用は変動します。
また、上記の費用に加えてサーバー費用が発生するケースも存在します。

13 業務アプリ開発の期間

3~6ヶ月ほど

アプリの種類によって、開発期間は異なります。

はつかぜへの お問い合わせ

最後までお読みいただきありがとうございました。
はつかぜでは、様々な業種、業態のアプリ開発の実績があります。
アプリ開発のご要望がございましたらお気軽にお問い合わせください。

14 はつかぜへの お問い合わせはこちら

会社名

はつかぜ株式会社

住所

大阪府中央区城見2-1-61
ツイン21MIDタワー37F

電話番号

06-6940-2866

FAX

06-6940-2867

問合せページ

<https://www.hatsukaze.co.jp/inquire/>

問い合わせページ
(QRコード読込)

